

# 大社小だより

出雲市立大社小学校  
平成23年5月27日(金)

5月の中旬を過ぎ気温がかなり高くなったときもありましたが、ここ数日は例年並みの気温となっています。外では、アヤメの紫の花もほぼ終わり、今頃はサツキが咲き始めました。また、木々の新緑も一段と鮮やかになってきました。

さて、先日の5月20日(金)には、お忙しい中、多数の保護者の皆様に授業公開、学級懇談、PTA総会や専門部会に御出席いただきありがとうございました。子どもさんの学級での様子はいかがだったでしょうか。毎日のように学習時間中に各学級を回ると、どの子も落ち着いて熱心に学習に取り組んでいます。お子さんのことで、お気付きの点がありましたら、遠慮なく担任や学校まで御連絡願います。保護者の皆様と学校の教職員が一緒になって子どもを育てていきたいと思しますので、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

## クラブ活動スタート

5月11日(水)に平成23年度のクラブ活動がスタートしました。4年生以上の子どもが希望したクラブに所属し、1年間活動します。今年は12回行いますので、月1回のペースです。開設しているクラブは、次の10個です。



- スポーツ    ○ちぎり絵    ○ダンス
- 囲碁・将棋    ○ようかい    ○手芸
- パソコン    ○生け花    ○室内ゲーム
- バイオリン

クラブによっては、外部講師の方に来ていただき指導してもらうものもあります。4～6年生の子どもは、みんな仲良く楽しく活動しています。

## 鶺鴒小との集合学習開始

5月16日(月)に鶺鴒小との集合学習が、今年度もスタートしました。これは鶺鴒小の1～6年生の7名が、担任の先生と一緒に大社小のそれぞれの学年学級に入り、丸一日一緒に学習し、また、給食も一緒に食べます。6年の修学旅行、5年の江津宿泊研修や秋の体育会も一緒に行います。

鶺鴒小の偶数学年の子どもは、昨年度と同じメンバーのクラスに入っているのが落ち着いていましたが、奇数学年の子どもはクラス替え等がありやや緊張している感じがしました。大社小の子どもは、鶺鴒小の子どもに親切に接していました。

年間15回程度この集合学習が予定されています。みんなが仲良く、楽しく学習してほしいと思います。



## 1年生を迎える会

5月17日(火)には、1年生を迎える会が体育館で行われました。これは、6年生の実行委員が中心となって企画、運営しました。

はじめに1年生と6年生が手をつなぎ入場し、6年生が1年生を椅子のある場所にうまく誘導していました。

実行委員長の挨拶のあと、全員でのゲームが始まりました。最初は、「大社小へ行こうよ」という仲間集めゲームでした。これは、単語の文字数により、その

数だけの人数を集め、集まったらすわるというものでした。だんだん文字数が増え、グループを作るのが難しくなっていました。しかし、みんなが1年生を上手にさそってグループを作っていました。また、じゃんけんゲームや全校合唱などもありました。

1年生もこの会を楽しんでおり、全体としてよ



い会だったと思います。

6年生の実行委員会の皆さん、お疲れ様でした。これからも全校のみんなが仲良く、楽しく過ごせるように、みんなで協力して行ってほしいものです。

## がんばった陸上大会

5月13日（金）に西部ブロックの小学校陸上大会が、浜山陸上競技場で行われました。これは、10校の小学校が参加して毎年行われています。今年は、12日（木）が予定日でしたが、雨天のため翌日に延期となりました。

本校からは、6年生の全員と4、5年生の選手が参加しました。



6年生は、競技役員として競技進行の手伝いをしたり、応援団として選手を応援したりしました。

選手の皆は、天候が悪い日が多く十分な練習ができなかったですが、自分のもてる力を十分に発揮して素晴らしい成績をあげました。選手、役員や応援団のみんなが、一生懸命に取り組んだ成果だと思います。他校の先生方からも賞賛の声が上がっていました。

これからも、この頑張りを学校生活の中でも発揮してくれるものと楽しみにしています。

## 学力と家庭学習について

文部科学省は、毎年小学校第6学年と中学校第3学年を対象に全国学力・学習状況調査を実施していますが、今年は東日本大震災のためこの調査を中止しています。2学期以降に実施するかどうかは、まだ未定です。

この調査では、小学生は国語、算数、中学生は国語、数学を受けています。以前は全ての小中学校で実施していましたが、昨年度は3割程度の学校が実施となっています。昨年度の結果については、各県ごとに一覧となってホームページ等に掲

載されています。島根県の小学校6年の国語と算数の平均は、全国平均より下回っていました。

全国で1位となった東北地方のA県と島根県とのデータを比較すると次のようになっていました。

あまり差がなく、よかったもの。

- 朝食を毎日食べる。
- 家族と一緒に食事を食べる。
- 地域行事によく参加し、近所の人に挨拶をする。

下回ったもの。（数字は%差）

- 1日1時間以上勉強する。（12）
- 家で自分で計画を立てて勉強している。（13）
- 家で学校の予習をしている。（12）
- 家で学校の復習をしている。（41）
- テストで間違えた問題について、家で勉強している。（19）
- 文章で解答する問題について、最後まで解答しようと努力した。（14）
- 学校に持って行くものを前日か、その日の朝に確かめている。（14）
- 夜十時までに寝る。（9）
- ものごとを最後までやり遂げて嬉しかった経験がある。（7）



この結果から、A県の児童は家庭で1日に1時間以上勉強し、内容は自分で計画を立て予習、特に復習や間違えた問題をしっかり学習して力を付けていることが分かります。また、忘れ物をしない、最後まで諦めずに取り組むといったことも大切だと分かります。

文部科学省は、新学習指導要領の中で家庭学習の充実をあげています。本校でも家庭学習を充実させようと、家庭学習の手引きを児童、保護者向けに配布し、説明しています。本校での家庭学習の目安の時間は、学年×10分+10分です。つまり、1年生は20分、2年生は30分、…6年生は70分です。また、それぞれの学年学級でもさらに意欲的に家庭学習に取り組めるよう指導を行っています。そして、児童に対してもお手本となるよい取組などを紹介しています。

今後とも基本的な生活習慣を確立し、家庭学習の充実を図っていこうと考えていますので、御支援、御協力をよろしくお願い致します。